

没後10年 白髪一雄「水滸伝豪傑シリーズ」展
関連トークイベント

美術資料アーカイブの現在

— 美術家を知る手がかりとして

パネラー

妹尾 綾 尼崎市文化振興財団学芸員 / 白髪一雄記念室担当
松山 ひとみ 大阪新美術館建設準備室学芸員 / アーカイブ担当
石原 友明 京都市立芸術大学教授 / 美術家

モデレーター

齋藤 歩 京都大学総合博物館(研究資源アーカイブ系)特定助教 / アーキビスト

2018年12月9日(日)

14:00 ~ 15:30

参加無料・定員100名(事前申込み不要)

尼崎市総合文化センター7階 第2会議室

〒660-0881 尼崎市昭和通2-7-16

展示会情報

没後10年 白髪一雄「水滸伝豪傑シリーズ」 — アクション・ペインティングによる豪放の世界 —

ロープにつかまり素足で滑走して描くダイナミックなアクション・ペインティングによって、絵画に新たな領域を切り開いた白髪一雄(1924-2008)。本展は、没後10年を節目として、海外でも人気が高い白髪の代表作「水滸伝豪傑シリーズ」(全108点)の中から国内の美術館所蔵作品20点を集めて紹介します。

2018年11月10日(土) ~ 12月16日(日)

10:00 ~ 17:00 (入場は16:30まで) ※会期中の火曜休館

尼崎市総合文化センター 美術ホール(5階)

入場料 一般 800円(前売 600円) シニア[65歳以上] 500円

大高生 400円(前売 200円) 中学生以下無料

※前売券発売所 チケットぴあ(Pコード:991-934)、尼崎市総合文化センター総合受付

※身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳、療育手帳などを持参の方は、手帳の提示により半額、介護者1人は無料。

主催 (公財) 尼崎市文化振興財団、毎日新聞社

後援 尼崎市、尼崎市教育委員会、兵庫県、兵庫県教育委員会

(株) ログキャビン、Fergus McCaffrey, New York, Tokyo, St. Barth

美術資料アーカイブの現在 — 美術家を知る手がかりとして

イベント内容

思考や制作の過程、交友関係など、残された資料から読み解くことのできる美術家たちの姿は、その作品を様々な文脈で歴史や社会に紐づけ、より深く、あるいは別の視点から理解するための助けとなります。そういった美術活動の周辺資料を「アーカイブズ」と位置づけて、展覧会の機会に限らず公開し、情報資源として再利用を促す動きが少しずつ進められています。

公益財団法人尼崎市文化振興財団では、尼崎市の郷土画家である白髪一雄の所蔵していた資料を遺族から一括して寄託を受け、白髪一雄記念室において整理・公開を行っています。大阪新美術館建設準備室では、白髪が所属した「具体美術協会」の資料の寄贈を受け、新しく開館予定である美術館での公開を目指して、資料の整理を進めています。

また、白髪の母校である京都市立芸術大学の芸術資源研究センターでは、美術資料を研究・紹介するだけでなく「創造のためのアーカイブ」として活用に取り組んでいます。

相互に関連する資料を保管する組織が現在の状況を一般に公開し情報を共有することにより、これからのアーカイブの方向性や可能性を探る試みとして、事例報告会を行います。

なお、事例報告の後、アーカイブの専門家を招いてディスカッションを行い、多様に存在する美術資料をいかにアーカイブとして保管・活用してゆくべきかについて討論を行います。

事例報告

(1)「美術資料と郷土の歴史資料 白髪一雄の場合」

妹尾 綾 尼崎市文化振興財団学芸員 / 白髪一雄記念室担当

(2)「具体美術協会メンバーの活動記録」

松山 ひとみ 大阪新美術館建設準備室学芸員 / アーカイブ担当

(3)「美術の記録のための写真」

石原 友明 京都市立芸術大学教授 / 美術家

パネルディスカッション

司会

菅谷 富夫 大阪新美術館建設準備室 室長

パネラー

妹尾 綾 尼崎市文化振興財団学芸員 / 白髪一雄記念室担当

松山 ひとみ 大阪新美術館建設準備室学芸員 / アーカイブ担当

石原 友明 京都市立芸術大学教授 / 美術家

モデレーター

齋藤 歩 京都大学総合博物館(研究資源アーカイブ系)特定助教 / アーキビスト

主催

(公財) 尼崎市文化振興財団、大阪新美術館建設準備室、毎日新聞社

問い合わせ先

(公財) 尼崎市文化振興財団 事業課文化担当

〒660-0881 尼崎市昭和通 2-7-16

Tel. 06-6487-0806 Fax. 06-6482-3503